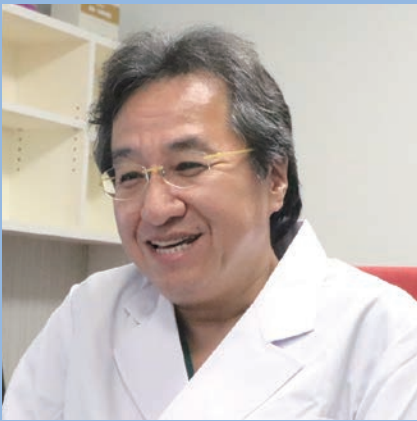


整形外科

コロナによる自粛生活の影響

新型コロナウイルスの流行以来、私たちはすでに1年以上も自粛生活を強いられており、経済ばかりでなく健康面においてもさまざまな弊害が現れてきています。特に高齢者の運動不足は顕著であり、この1年ほどは骨密度が低下傾向を示す高齢者の割合が増えています。骨粗鬆症の原因は加齢や体質などさまざまですが、食事の

内容や運動量も大きな影響を与えます。さらに筋肉も衰えてくれば「立つ」「歩く」などの基本的な運動機能が低下するコロナティブシンドローム（運動器症候群）に進行していく恐れがあります。もちろんコロナの感染予防対策は最重要事項ですが、その裏で生じている付随事項には多くの人が無関心です。今後数年は新型コロナウイルスとの共存が予想されており、自分の健康はより自分で管理する時代になってくると思われまます。運動機能の低下が顕著に感じられる人は、どうぞ当院に相談してください。



田中 英俊

■ 整形外科

新ゆり整形外科



☎044-955-1154
麻生区上麻生1-3-5
ドレイクビル2F
<http://shinyuri-seikeigeka.com/>